

アイヌ施策推進交付金事業計画

1 事業名	豊富町アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	地域・産業振興事業 コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	地区に生きるアイヌの人々が誇りをもって地域で暮らし、将来にわたり地域と融和し、地区の発展と住民への継承を図る
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業 *該当なし</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>①アイヌ文様ラッピングワゴン交通整備事業</p> <p>○事業実施主体 豊富町</p> <p>○事業の実施場所 豊富町</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和8年3月</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <p>当地域は交通手段が脆弱であることから、生活館を拠点としてアイヌ文様をラッピングしたワゴン車両を運行することにより、生活交通基盤の確保を図るとともに、日常的にアイヌ文化の情報に触れることで、アイヌ文化への理解促進、普及振興を図る。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>①稚咲内生活館新築事業(250m² 見込)</p> <p>○事業実施主体 豊富町</p> <p>○事業の実施場所 豊富町字稚咲内</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和6年度</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <p>豊富アイヌ協会の活動拠点となっている稚咲内生活館が老朽化及び耐震不足な状況であることから建て替えを行う。</p> <p>○事業概要</p> <p>令和3年度 新築地質調査</p> <p>令和4年度 新築基本設計（実施設計）・測量</p> <p>令和5年度 新築工事、施設備品（会議机・椅子等）</p> <p>令和6年度 外構工事及び旧生活館解体工事(165.94m²)</p> <p>・施設の場所及び用地の概要 天塩郡豊富町字稚咲内 6381 番地 6 (旧稚咲内小学校校庭：平成 22 年閉校)</p> <p>・施設内容 *未定 基本設計により確定する</p> <p>・利用計画（成果目標のとおり）</p> <p>・維持管理費の収支計画 *未定 基本設計により確定する</p> <p>・施設の整備完了予想図 *未定 基本設計により確定する</p> <p>・付近見取り図 別紙 1 航空写真のとおり</p> <p>・配置図 別紙 2 航空写真のとおり</p> <p>・同種又は類似の施設の数及び利用状況 生活館は稚咲内地区のみ</p> <p>②豊富町公設学習塾開設事業</p> <p>○事業実施主体 豊富町</p> <p>○事業の実施場所 豊富町民センター若しくは豊富町定住支援センター</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和8年3月</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <p>学習の基礎・基本の定着と学力全体の底上げを図るとともに、ふるさと教育による将来の地域を担う人材育成と地域への愛着を深めるため、アイヌ子</p>

	<p>弟をはじめとした町内の学校に通う児童・生徒を対象に、公設学習塾を開設する。</p> <p>なお、実施場所については、稚咲内生活館を検討したが、児童・生徒の大半が市街地に居住しており、市街地から稚咲内生活館までの距離が片道約16 kmと遠方であるため、市街地に立地している公共施設を予定する。</p>
5 アイヌ施策推進 地域計画における 記載	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業 *該当なし</p> <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業 *該当なし</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌ文様ラッピングワゴン交通整備事業</p> <p>当地域は交通手段が脆弱であることから、生活館を拠点としてアイヌ文様をラッピングしたワゴン車輛を運行することにより、生活交通基盤の確保を図るとともに、日常的にアイヌ文化の情報に触れることで、アイヌ文化への理解促進、普及振興を図る。</p> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業</p> <p>■豊富町稚咲内生活館新築事業</p> <p>豊富アイヌ協会の活動拠点となっている稚咲内生活館が老朽化及び耐震不足な状況であることから建て替えを行う。</p> <p>■豊富町公設学習塾開設事業</p> <p>アイヌ子弟をはじめとした町内の児童・生徒の学習の基礎・基本の定着と学力全体の底上げを図るとともに、ふるさと教育による将来の地域を担う人材育成と地域への愛着を深めるため、公設学習塾を開設し学習支援を行う。</p>

6 事業の成果目標等							
(1) 成果目標の達成に向けた工程	<p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>■アイヌ文様ラッピングワゴン交通整備事業</p> <p>交通基盤を強化することでコミュニティ活動の安定化及び活性化、アイヌ文化の振興が図られ、アイヌ文化への理解が推進される事業であり、アイヌ文様ラッピングワゴンの利用者数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>■稚咲内生活館新築事業</p> <p>アイヌの人々を含む高齢者、子供たちのコミュニティ活動の場の提供を行うことにより、アイヌの人々が誇りをもって生活することができ、地域との融和が図られ、拠点施設(生活館)の利用者が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>■豊富町公設学習塾開設事業</p> <p>公設学習塾を開設し学習支援を行うことにより、アイヌ子弟をはじめとした町内の児童・生徒の学習の基礎・基本の定着と学力全体の底上げを図るとともに、ふるさと教育による将来の地域を担う人材育成と地域への愛着を深め、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、学習塾の利用者が増えるほど、効果が高まると考えられる。</p>						
(2) 成果目標、(中間) 目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて)	<p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>■アイヌ文様ラッピングワゴン利用者数</p> <table border="0"> <tr> <td>(目標値)</td> <td>令和4年度</td> <td>1,000人/年</td> </tr> <tr> <td>(中間目標)</td> <td>令和5年度</td> <td>1,300人/年</td> </tr> </table>	(目標値)	令和4年度	1,000人/年	(中間目標)	令和5年度	1,300人/年
(目標値)	令和4年度	1,000人/年					
(中間目標)	令和5年度	1,300人/年					

て記載すること)	<p>(最終目標) 令和7年度 1,500人/年</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>■稚咲内生活館利用者数</p> <p>(目標値) 令和3年度 130人/年</p> <p>(中間目標) 令和5年度 200人/年</p> <p>(最終目標) 令和7年度 1,000人/年</p> <p>■豊富町公設学習塾利用者数</p> <p>(目標値) 令和3年度 20人/年</p> <p>(中間目標) 令和5年度 30人/年</p> <p>(最終目標) 令和7年度 50人/年</p>
(3) 成果目標の確認方法	各KPIについて、実績値を公表する。また事業を実施する部局以外の役場管理職員で構成する評価委員会により、目標の達成状況等について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。

7 地域の概要	
(1) 地域におけるアイヌ文化などの現状及び課題	<p>本町に多くのアイヌの方々が生息する稚咲内地区は、昭和23年(1948年)から入植がはじまり、入植者の多くが樺太引揚者で、特に広地村からの引揚者が半数を占めていた。</p> <p>当時は半農半漁の生活を行っていたが、広地村時代の漁組役員であった小栗孝三を頼り、移住者の漁業振興が行われ、豊富町の漁業の基礎を築くとともに、その移住者の多くがアイヌの方々であり、その後、地域に根付いて生活基盤が確立されてきている。</p> <p>現在においても、豊富町の稚咲内地区にはアイヌの方々が生息しており、地区の活動などを積極的に行っているが、一方で、この地区では他の地域のような伝統的な行事や活動は行われておらず、特別な扱いではなく、あくまで地区の一員として地区の発展を支えてきている。</p> <p>豊富アイヌ協会の活動拠点となっている稚咲内生活館(昭和42年建築)については、近年老朽化が著しく、また高齢者が多いことから、位置的にも日常的な利用にも支障を来しており、地区中心部へ移転・新築に向けた要望も出てきている。</p> <p>豊富町内の産業である漁業においては、サケ、ホッキ、ヒラメ等を主として漁獲しているが、近年、担い手不足と高齢化により、アイヌの人々を含む漁業者が、大きく減少している状況にある。</p> <p>移住当初から生息し、貴重な収入源となっていたホッキは、地区漁業者全員が操業しており、「茶ホッキ」と呼ばれ、地区の貴重な資源となっていたが、減少傾向にあるため、母貝の移植放流を行うとともに、生育を阻害しているカシパンの駆除を行い生育漁場の環境を整備することで、資源の安定化を図り、町の産業振興につなげていく必要がある。</p>
(2) 施設等の管理運営体制	稚咲内生活館については町が所有し、清掃や点検等管理の一部は地域住民が主体となり行っている。
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	豊富アイヌ協会及び稚咲内町内会とは定期的に意見交換を行っている

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	18,209,600	7,096,830	11,112,770	0
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	4,552,400	2,899,536	1,652,864	0
民間団体負担額	0	0	0	0
計	22,762,000	9,996,366	12,765,634	0

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
(2)地域・産業振興事業	4,582,000	567,740	4,014,260	0
報酬	0	0	0	0
給料	0	0	0	0
職員手当等	0	0	0	0
共済費	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0
委託料	3,295,000	500,000	2,795,000	0
賃借料	758,000	63,140	694,860	0
役務費	53,000	4,600	48,400	0
燃料費	476,000	0	476,000	0
備品購入費	0	0	0	0
(3)コミュニティ活動支援事業	18,180,000	9,428,626	8,751,374	0
報酬	679,000	91,596	587,404	0
給料	2,515,000	2,445,000	70,000	0
職員手当等	938,000	629,442	308,558	0
共済費	683,000	576,198	106,802	0
報償費	36,000	0	36,000	0
消耗品費	50,000	0	50,000	0
委託料	13,211,000	5,195,300	8,015,700	0
賃借料	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0
備品購入費	68,000	491,090	0	△ 423,090
合 計	22,762,000	9,996,366	12,765,634	0
報酬	679,000	91,596	587,404	0
給料	2,515,000	2,445,000	70,000	0
職員手当等	938,000	629,442	308,558	0
共済費	683,000	576,198	106,802	0
報償費	36,000	0	36,000	0
消耗品費	50,000	0	50,000	0
委託料	16,506,000	5,695,300	10,810,700	0
賃借料	758,000	63,140	694,860	0
役務費	53,000	4,600	48,400	0
燃料費	476,000	0	476,000	0
備品購入費	68,000	491,090	0	△ 423,090